

## 渋川市中学生海外派遣事業に係る提案

## 1 経緯

中学生海外派遣事業は、海外での生活を通して、国際理解を深め、豊かな国際感覚や広い視野を身につけた人材の育成を目的としている。合併前の各市町村が実施していたものを含めると平成3年から事業開始となり、令和3年度で32年目を迎える。旧渋川市がオーストラリア・ローガン市、旧伊香保町はアメリカ・ハワイ州ヒロ市、旧北橋村はニュージーランド・ファカタネ市と交流してきた。

現在までに3度の中止を余儀なくされた。1度目は平成21年の新型インフルエンザ流行によるもの、2度目、3度目は令和2年、令和3年の新型コロナウイルス感染症の流行によるものである。

本事業の充実発展に資するため、毎年3回程度、推進委員会を開催し、各中学校長の意見を集約している。今回、令和3年度第2回推進委員会（7月16日開催）において集約した意見をもとに、令和4年度以降の本事業の方向性を提案する。

## 2 成果

- 平成27年度以降は、ハワイについてはホームステイの受け入れ状況の困難さがみられたため、「オーストラリア」と「ニュージーランド」の2コースに、それぞれ10名ずつ中学生を派遣しており、令和元年度まで継続していた。
- 渋川市の海外派遣事業では、各学校からの募集に始まり、事務局や学校による選考・抽選の後、複数回に渡って丁寧な事前指導をとおして、派遣に対する意欲、責任感、資質を十分に高めてから派遣することができた。
- 現地では、ホームステイ先の家族や受け入れ先学校の友達と、英語を使って積極的にコミュニケーションを図るとともに、様々な体験活動や文化交流を直接行う中で、現地でなければ味わえないとても貴重な経験をすることができた。
- 帰国後は、自分たちの体験をまとめ、学校や市民に向けて自分の考えや派遣の体験から得た思い等を帰国報告会や海外派遣写真展をとおして発信することで、事業の成果を還元することに努めていた。
- 特に中学在校生にとっては、各校で2週間程度掲示される写真展の様子をとおして、外国人とコミュニケーションすることの楽しさや大切さに気づいたり、次年度の海外派遣研修に応募意欲をかき立てられたりする状況が生まれていた。
- 毎年ではないが、ニュージーランドのファカタネ市の学生等を、渋川市の派遣生徒の家庭が受け入れてホームステイを行うなど、相互の友好関係を深めてきている。

## 3 提案(令和4年度以降の本事業の方向性)

- (1) 海外派遣参加対象者を中学2・3年生から拡大し、小学生から一般の方までの募集としたい。参加対象者を広げたことで、渋川市国際交流の一環として他機関・他課で本事業の意義やねらいを継承した事業の検討を提案する。

## 【提案に至った論拠】

- 市内中学校長は本事業の意義やねらいを十分理解しており、何らかの形で事業存続を望んでいるが、新型コロナウイルス感染症の終息が見込めない状況では、事業実施の困難性が予想されるため。

- (2) 市内中学校長は、事業変更して学校教育課に国際理解教育並びに英語教育の充実のための企画で事業実施を望んでいる。そのため、学校教育課は新企画のもとで、事業実施を検討していきたい。
- ・企画ア……渋川市の魅力を国内外に動画配信サービスを使って情報発信する教育課程外の英会話研修会 (例) イングリッシュキャンプ
  - ・企画イ……ALTによる英会話研修及びオンライン国際交流等 (例) SGC Dの中学生版
  - ・企画ウ……市内中学生による外国人観光客向けの伊香保温泉観光案内等 (例) 中学生の英語版伊香保観光ガイド

**【提案に至った論拠】**

- ・2年連続で事業中止となり、さらに今後も中止が予想されるため、児童生徒の学びの保障を考えると、事業企画を変えても国際理解教育や英語教育の充実を図る必要があると考えるため。

**4 補足**

**【外務省海外安全ホームページより抜粋情報】** (令和3年7月11日現在)

○入国制限情報

- ・オーストラリア、ニュージーランドの両国は、原則外国人の入国を禁止している。
- ・COVID-19 の感染拡大防止のため、オーストラリア入国後、オーストラリア政府が指定する検疫施設 (ホテルなど) での14日間の隔離が義務付けられている。
- ・オーストラリア到着の最初の都市にて隔離となるため、14日間経過するまでは国内線でオーストラリアの各都市へ移動することはできない。